



JTUC-TOKUSHIMA 連 合 徳 島

vol. 280

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- ◎ 4月27日(木)
四国ブロック最低賃金担当者会議 (高松市)
- ◎ 5月 1日(月)
第88回徳島中央メーデー(御成婚広場)



「長時間労働の是正」フォトメッセージ

森本会長から「連合徳島は、900人が参加した。開会にあたり、連合徳島実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は3月12日板野町のあすたむらんど徳島で、2017春闘ふれあいファミリーデーを開き、快晴のもと、仮面ライダーエグゼイドショーの効果もあり、連合徳島各構成組織の組合員や家族など約1,900人が参加した。」

連合徳島の活動をアピール

— 2017syuntoふれあいファミリーデー —



組合員や家族など1900人が参加

県民と働く者のフェスタ実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は3月12日板野町のあすたむらんど徳島で、2017春闘ふれあいファミリーデーを開き、快晴のもと、仮面ライダーエグゼイドショーの効果もあり、連合徳島各構成組織の組合員や家族など約1,900人が参加した。開会にあたり、連合徳島森本会長から「連合徳島は、900人が参加した。開会にあたり、連合徳島実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は3月12日板野町のあすたむらんど徳島で、2017春闘ふれあいファミリーデーを開き、快晴のもと、仮面ライダーエグゼイドショーの効果もあり、連合徳島各構成組織の組合員や家族など約1,900人が参加した。」

「長時間労働の是正」フォトメッセージ
地震復興支援大
本大震災・熊本
がツイズに挑戦
む会場の皆さん
題し、子どもを含
スト初級編を出
ワークルールは
とあいさつ。続い
て鳥事務局長は
「長時間労働の是正」フォトメッセージ

3万2千人の組合員で構成されている。2017春季生活闘争の2大テーマは、『底上げ・底支え』でクラシノソコアゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！のスローガンで闘って行く。また、月例賃金の引き上げにこだわりの『経済の自律的成長』『社会の持続性』を実現する。そのほか、連合は給付型奨学金の創設にも取り組んでいる。政府は、私たちも含めた労働福祉団体の要請を受け、国の制度としては初めてとなる給付型奨学金制度の創設を決定した。今後、さらなる制度の拡充を求め、運動を継続していく。本日は、日頃の多忙な日々を忘れ、家族の和を大切に、家族サビスタにつとめていただきたい。」

3万2千人の組合員で構成されている。2017春季生活闘争の2大テーマは、『底上げ・底支え』でクラシノソコアゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！のスローガンで闘って行く。また、月例賃金の引き上げにこだわりの『経済の自律的成長』『社会の持続性』を実現する。そのほか、連合は給付型奨学金の創設にも取り組んでいる。政府は、私たちも含めた労働福祉団体の要請を受け、国の制度としては初めてとなる給付型奨学金制度の創設を決定した。今後、さらなる制度の拡充を求め、運動を継続していく。本日は、日頃の多忙な日々を忘れ、家族の和を大切に、家族サビスタにつとめていただきたい。」



「STOP!長時間労働」アンケート

2017春闘 政策・制度要求

連合徳島と春闘共闘会議は労働局、徳島県ならびに経営4団体に対し、2017春闘に関する政策・制度要求の要請書を出し、要請行動(交渉)を行った。働き方改革、雇用対策や非正規雇用者の処遇改善、クラシノソコアゲ応援団としての連合の取り組みや、「底上げ・底支え」格差是正の必要性等を訴えた。

県内3団体に要請書提出

連合徳島は、3月7日に徳島県、3月8日に徳島労働局、3月9日に経営4団体に対し要請行動を行った。参加者は、連合徳島森本会長はじめ執行部、徳島県中小労働対策本部、連合徳島女性委員会から選出したメンバーで構成。

連合徳島は、3月7日に徳島県、3月8日に徳島労働局、3月9日に経営4団体に対し要請行動を行った。参加者は、連合徳島森本会長はじめ執行部、徳島県中小労働対策本部、連合徳島女性委員会から選出したメンバーで構成。

希望と安心を取り戻す闘いを
春闘勝利に向けデモ行進

2017春闘勝利 徳島県総決起集会

徳島県春闘共闘会議は、3月3日藍場浜公園で、2017春季生活闘争勝利3・3徳島県総決起集会を開催し、各構成組織から約800人が参加した。冒頭、主催者を代表し、森本共闘会議議長は「今年の春季生活闘争の大きなテーマは、賃金の『底上げ・底支え』、企業規模間、雇用形態、男女間などに存在する『格差是正』でクラシノソコアゲを実現する。確実に消費に回す『月例賃金』の引き上げにこだわる。物価上昇率の後追い型賃上げでは、『デフレからの脱却』は不可能である。地域別最低賃金に關しては2017年度から徳島県はCランクに格上げされる予定となっており、徳島県全体の賃金の底上げという点からも大変注目される状況である。さらに、働き方改革を着実に進め、長時間労働撲滅でハッピーライフを実現することである。」



各構成組織から約800人が結集

労働局要請
労働局への要請行動では、地域雇用対策の推進、労働者の利便性向上に向けた就労支援・生活支援の一体的実施の推進、将来の日本社会を支える若年者に対する実効的な雇用対策の実施、公契約条例の制定による公契約の適正化、生活困窮者自立支援体制の確立と子どもの貧困対策、生活保護の運営体制の改善・充実、地域包括ケアシステムの構築

行政の強化、改正労働者派遣法に関する法令の周知徹底、適正な水準への最低賃金の早期引き上げと監督行政の強化、雇用における男女平等の推進、ワーク・ライフ・バランス社会の早期実現、および県内労働福祉関連団体とのさらなる連携強化を軸に要請。

長時間労働を撲滅しなければならぬという方向性は、労使で一致しているが、繁忙期の上限時間で連合と経団連との間で話し合いが進められている。この国から過労死がゼロになるまで連合は訴え続けていく。」とあいさつ。続いて、島共闘会議事務局からは、2017春季生活闘争方針に基づき、ヤマ場を迎える大手の交渉を支援し、中小・地場の闘争に繋げていくため、今後の取り組みについて確認し



徳島市内中心部デモ行進

連合徳島は、今後とも各種団体への要請行動などを通じて、「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指して行く。

経営団体に対する要請行動では、2017春闘の促進、地域の活性化に向けた雇用対策の強化、法令遵守、地域別最低賃金の改善、および労働者福祉政策の確立を軸に要請した。

マは、賃金の『底上げ・底支え』、企業規模間、雇用形態、男女間などに存在する『格差是正』でクラシノソコアゲを実現する。確実に消費に回す『月例賃金』の引き上げにこだわる。物価上昇率の後追い型賃上げでは、『デフレからの脱却』は不可能である。地域別最低賃金に關しては2017年度から徳島県はCランクに格上げされる予定となっており、徳島県全体の賃金の底上げという点からも大変注目される状況である。さらに、働き方改革を着実に進め、長時間労働撲滅でハッピーライフを実現することである。」

長時間労働を撲滅しなければならぬという方向性は、労使で一致しているが、繁忙期の上限時間で連合と経団連との間で話し合いが進められている。この国から過労死がゼロになるまで連合は訴え続けていく。」とあいさつ。続いて、島共闘会議事務局からは、2017春季生活闘争方針に基づき、ヤマ場を迎える大手の交渉を支援し、中小・地場の闘争に繋げていくため、今後の取り組みについて確認し

意思統一を図る。加えて、未組織労働者を含むすべての働く者へ波及させるために情報開示と共有を積極的に行う方針を提起した。その後、各分会から鎌谷民間大手部会事務局長、宮本徳島県中小労働対策本部議長、中央地協議長、吉野公務労働事務局長、大西西部地協議長、榊南部地協副議長が力強く決意表明を行った。また、小畑連合徳島青年委員会委員長が、総決起集会アピールを読み上げ、全員の拍手で採決された。最後に、森本共闘会議議長の団結がんばろうで集会を閉じた。集会終了後、デモ行進を行い、「2017春闘勝利！賃金引き上げを勝ち取るぞ！連合徳島は闘うぞ！」などシュプレヒコールで氣勢を上げた。



写真左から徳島県、経営4団体要請

徳島県中小労働対策本部
第26回定期総会・研修会

中小共闘方針共有化

「底上げ春闘」で「経済の自律的成長」の実現を

3月4日～5日の2日間、阿波観光ホテルで徳島県中小労働対策本部第26回定期総会・一泊研修会を開催し、県内の中小地場組合から60人が参加した。

冒頭、宮本議長から「労働組合最大の存在を示す春闘時期に定期総会を開催し、いよいよ春闘交渉の火ぶたが切られることを実感する。昨年から掲げている「底上げ春闘」の旗の下で、みんなで力を合わせて取り組み、獲得することができた春闘の新しい流れを2年



宮本議長あいさつ

目に継続させていかなければならない。私たちが働く中小企業は地域経済・社会の担い手であり、そこで従事する者の労働条件の底上げは地域の活性化につながる。組合員の賃金・労働条件の改善はもとより、社会全体の課題解決に向け、われわれ自身の役割を認識しながら、今春闘に臨む必要がある。」とあいさつ。その後、連合徳島森本会長、連合本部須田総合労働局長、徳島労働局労働基準部杉山部長、徳島県商工労働



各構成組織から60人が参加

議長の団結ガンパローで定期総会を終了した。定期総会終了後、一泊研修会が開かれ、U.A.ゼンゼン徳島県支部矢嶋支部長より「春季生活闘争と労働組合の現場力」、連合本部須田総合労働局長より「2017春季生活闘争中小の取り組み」、連合本部非正規センターの取り組み、徳島労働局健康安全課松岡課長

より「労働安全衛生の動向」、四国労働金庫徳島営業本部奥田上席より「個人型確定拠出年金制度」をテーマとした講演が行われた。

狭山再審闘争を軸に あらゆる差別の撤廃・ 人権啓発など取り組み確認



共闘会議森本議長あいさつ

第38回部落解放徳島地方共闘会議総会が、3月22日、労働福祉会館別館5階にて開催され、各構成組織・団体から代議員56人（うち委任状15人）・役員20人が出席した。

総会は、吉野副議長（連合徳島）の開会あいさつで開会された。狭山事件は31回の三者協議が開かれたにも関わらず、証拠一覧の開示には至っていない。引き続き第3次再審に向け、一層運動を上げていきたい」とあいさつ。

続いて、板東事務局長（連合徳島）から1年間の活動報告・決算報告、関口会計監査（部落解放同盟）から監査報告が行われた。当面の取り組みとして、部落問題・人権問題についての学習・教宣活動の推進、狭山第3次再審闘争、就職・雇用における差別撤廃と公正なワークルール確立等の活動方針、2017会計予算（案）が提案され、全体の拍手で承認された。最後に、森本議長の団結ガンパロー三唱で総会を閉じた。



差別のない社会づくりに向け団結ガンパロー

男女平等関連法改正の動向を学習 JR徳島駅前でアピールウォーク

国際女性デー

3月4日阿波観光4Fにて110人が参集し、3・8国際女性デー徳島県集会を開催した。はじめに、東

条実行委員長は3・8国際女性デーのなりたちや男女平等についてあいさつ。来賓には森本連合徳島会長と吉川沙織参議院議員が出席。吉川参議院議員は「今日の女性の権利獲得まで奮闘してこられた諸先輩方に敬意と感謝を申し上げます。私は徳島生まれの勤労者の代表として、国会で女性の視点をしっかりと取り入れた政策実現や労働法制に力を注いでいきたい。」と連帯あいさつ。



「関係法改正の動向」を説明する井上男女平等総合局長

記念講演には、連合本部井上総合男女平等局長を招き、「女性を取り巻く現状と課題」と題して両立支援、男女平等関連法改正の動向、LGBTの取り組み、働き方改革・親子断絶防止法案など幅広い内容の講演を行った。

質疑応答の後、部落解放同盟徳島県連合会中原サヲ江副委員長より提案したアピールを採択し、閉会した。その後シブプレヒコールをしながらJR徳島駅前までアピールウォークをした。JR徳島駅前では約50人がビラ配布を行い、リレートークでは①3・8国際女性デー実行委員長・ストッ



アピールウォークに50人が参加

青年委員会

ユースター活動を テーマに学習

連合徳島青年委員会は、2016年12月17日に開いた第1回幹事会で、各構成組織青年層が集う場の提供と学習の場を確保するため毎年3月と9月に、学習研修会を行うことを決定。そして本年度第1回目となる学習研修会を3月11日、「連合ユースターの活動・クラシソコアゲ応援団」をテーマに労働福祉会館502号室で開催し、各構成組織から30人の青年・女性

が参加した。学習研修会に先立って、「東日本大震災」で犠牲となられた方々に黙祷を捧げた。冒頭、連合徳島青年委員会・小畑委員長から「連合本部から連合ユースターの活動と連合広報について講演いただいた。本日の学習内容をそれぞれの職場で活かしてもらいたい」とあいさつ。その後、連合本部連帯活動局若月部長から「地方



「SNSの活用」を講演する広報教育局遠藤次長



「連合ユースターの活動、課題、方針」を説明する連帯活動局若月部長

連合会の青年・女性委員会の活動および課題・方針について、連合広報教育局遠藤次長からは「連合の広報活動『ホームページ・フェイスブック・ツイッター』の活用」について



各構成組織から30人が参加

